

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	岡谷市病院事業							
代表者名	氏名	平山 二郎	役職名	病院事業管理者				
主たる事務所の所在地	長野県岡谷市本町四丁目11番33号							
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉						
	中分類	83 医療業						
主たる事業の概要	一般病院							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1451	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	19	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

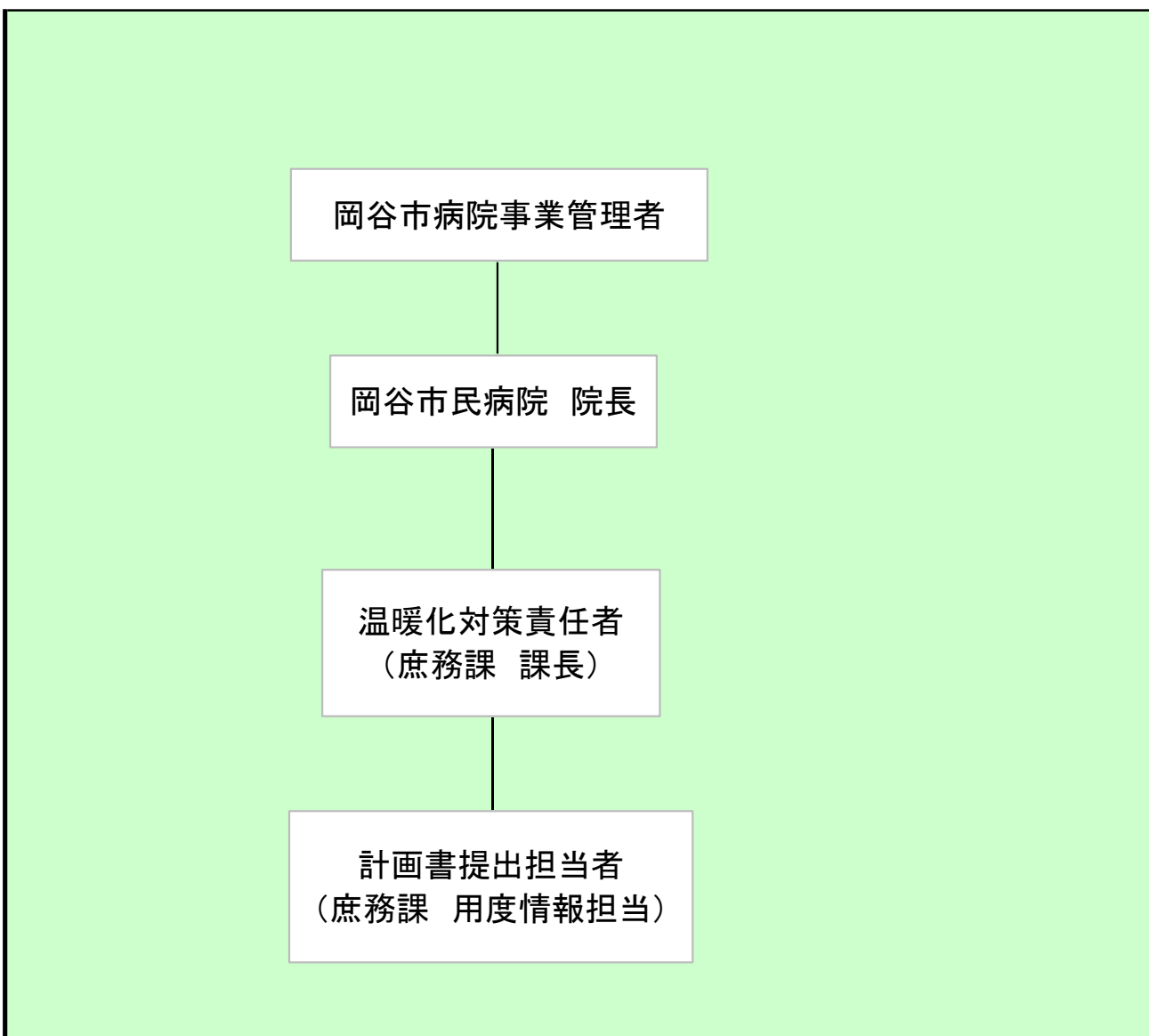
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	岡谷市民病院 庶務課用度情報担当で閲覧可能 月曜日～金曜日 8:30～17:15 祝祭日は除く 連絡先 0266-23-8000
<input type="checkbox"/>	その他	審査中

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

岡谷市病院事業環境保全の率先実行計画

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,347	t-CO ₂	延床面積	31	単位	千m ³	
25年度	調整後排出量	2,888	t-CO ₂	基準原単位	107.97	t-CO ₂ /	千m ³	
目標年度	目標排出量	3,247	t-CO ₂	目標原単位	105.50	t-CO ₂ /	千m ³	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	2.98	%	目標削減率	2.28	%		
目標設定に関する説明	節電、エネルギー使用の見直しを図り、温室効果ガスの排出を抑制する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,130	t-CO ₂	延床面積	31.00	単位	千m ³	
	調整後排出量	3,118	t-CO ₂	原単位	100.97	t-CO ₂ /	千m ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	6.48	%	削減率	6.48	%		
排出量等の増減理由	デマンドコントロールによる電気使用量抑制。							
第二年度	排出量	2,864	t-CO ₂	延床面積	31.00	単位	千m ³	
	調整後排出量	2,855	t-CO ₂	原単位	92.39	t-CO ₂ /	千m ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	14.43	%	削減率	14.42	%		
排出量等の増減理由	<p>新病院移転に伴い、最新の設備になったこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災センターでのデマンド一括管理(院内設定温度の統一) ・A重油を一切使用しなくなったこと ・太陽光発電の導入 ・エコボイド(自然換気システム)の導入 ・地中熱を利用した空調システムの導入 							
第三年度	排出量	2,938	t-CO ₂	延床面積	24.00	単位	千m ³	
	調整後排出量	2,923	t-CO ₂	原単位	122.42	t-CO ₂ /	千m ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	12.21	%	削減率	(13.39)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>平成27年度よりは、多少増になってはいるが、新病院に移転し省エネに配慮した最新の設備が導入され、土地の特色(地中熱など)を利用した空調設備や、自然換気システム(エコボイド)の有効活用により電気使用量などの抑制に成功した。</p> <p>また、院内では、会議などの終了後必ず部屋の電気を消灯するよう通知を出したり、エレベーターは、3アップ3ダウン以下は使用をしないなどのルール作りをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災センターの親機での院内空調機温度抑制。 ・さらに、システムで院内の必要が無く稼働している箇所の空調機を停止した。 ・エコボイド(自然換気システム)で外気温を有効活用し、院内の温度調整。 ・地中熱を活用し、院内温度の調整に有効活用している。 ・中部電力にソリューションをしていただき、院内の稼働している空調設備の中で無駄と思われる箇所をピックアップしていただき電気量の抑制に努めた。 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	26	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150105 デマンドコントロールによる電気使用量抑制	26	15	27～28	50
2	エネ起	150201 LEDの導入、照明の間引き	27	15	27～28	130
3	エネ起	110303 中央監視・BEMSによるエネルギー使用状況や設備機器の運転状況の一元管理	27	15	27～28	40
4	エネ起	その他 節水型便器や高効率機器	27	15	27～28	30
5	エネ起	130201 免震層クールピッドからの外気導入による空調負荷の低減	27	15	27～28	50
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	k w	0	50	0	50	50

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	459		12	9	15
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	3,347	2	3,130	3	2,864	1	2,938
合計	2	3,347	2	3,130	3	2,864	1	2,938

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	19	19	19	19
次世代車導入割合	5.3	5.3	5.3	5.3

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	なし(電車通勤の職員には交通費全額支給)
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	デマンドコントロールによる電気量の抑制
第二年度実績	防災センターでのデマンド一括管理 太陽光発電の導入 地中熱を利用した空調システム エコボイド(自然換気システム)の導入
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院移転後一切重油を使用しない設備になった事。 ・防災センターでのデマンド一括管理による電気使用量の抑制 ・太陽光発電の導入 ・地中熱を利用した空調システム ・エコボイド(自然換気システム)を活用した設備の導入

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	エコキャップやインクカートリッジの回収 使用頻度の低い場所や事務室等の照明の真引き、こまめな消灯 電気のLED化	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターは、3アップ3ダウン以下は使用せず、階段を利用し少しでも電気量の抑制に取り組んでいる。 ・中部電力にソリューションしていただき無駄に稼働している箇所を停止、一時停止するなどして抑制した。 	